

生存科学 VOLUME 28-2 MARCH 2018

目 次

特集=未来学

21世紀の未来宇宙観が生み出す活力	石井 威望	3
人工知能とソーシャル・キャピタル	稻葉 陽二	11
高齢社会のゆくえ—2050年の高齢者像	府川 哲夫	19
健康福祉領域の未来学について		
—公衆衛生倫理、障害者の支援対策・人権、憲法・行政法の		
3つの観点から—	松田 正己ほか	31
武見太郎のみた日本の未来		
—昭和30年の論文「老人の増加にどう対処するか」を		
読む—	丸井 英二	45
禅的思考と植樹活動	日置 道隆	53
社会関係資本の導くもの		
—琉球ハブ国家構想—	藤原 成一	71

論文

政策科学的視点による健康政策の国際化：		
政策過程の可視化と戦略的管理	佐藤 元	87
「QOL」を哲学する		
—生存・生活・人生の〈構造〉—	森下 直貴ほか	103
1型リニアノジン受容体の機能異常と筋疾患	村山 尚	127
バイオバンクと市民参加：		
医学研究における「参加」概念に関する文献調査	及川 正範ほか	137

研究ノート

北里大学北里研究所病院における倫理コンサルテーションの		
経験	竹下 啓	153

自主研究

医療現場における対人支援職者の倫理観の構造

—医師、看護師、医療ソーシャルワーカーを対象とした

編集後記

学術誌「生存科学」への投稿のご案内と規定